

中野たかし 議会便り

2015年7月号

6月定例倉吉市議会

・議員在職12年表彰をうける。

本会議開会前に全国市議会議長会、中国市議会議長会から表彰が有りました。

私は中国市議会議長会から議員在職12年の表彰を受けました。今後とも、精一杯、議員活動に努めてまいります。



主な市長提案

一般会計補正予算

・**民生費 第3子以降保育料無償化事業補助金 347万円**

* 第3子からでなく第2子からにしてほしいと思います。少子化対策のためには将来的には第1子から必要だと考えます。国の取り組みが必要だと思います。

・**土木費 老朽危険空き家等除却支援事業費補助金 180万円**

議案第61号 倉吉市名誉市民の決定

・**大坂弘道様(倉吉市出身の「木工芸」人間国宝)**

補正予算、その他の議案はすべて可決されました。

中野たかしの一般質問

1. 地方創生に向けた対応について

地方創生というと竹下内閣の時の1億円事業を思い出す。倉吉市では「青少年の森」を作ったが、あまり使われていない。地方はそれぞれ課題を抱えており、課題解決のために、取り組んでいる。国が制度を作るのであれば、それをうまく活用する事も行政として重要と考えます。新しい地方創生をするためには組織と人づくりが重要だが、どうする考えでしょうか。

総合戦略のスケジュールはどうなっていますか。

2. 地域間競争について

地方創生も地域間競争だと思います。これまでもそうでしたし、これからも他地域との競争だと思います。競争ですから勝たなければならないが、他の競争相手が商売のじやまだからと言って倉吉市に入らせないようにするのは問題がある。競争相手が隣の町で商売をし、結局、倉吉市が発展しなくなる。

3. 企業誘致について

企業誘致も地方創生、総合戦略にかかわってくる。目の前の目標としては人口増という事になるが、調和のとれた人口構成が必要だと思います。

誘致企業を選ぶというのは贅沢だと思いますが、社会的に問題が有る企業は別として、倉吉市に来て下さる企業は歓迎したい。

中野たかし 議会便り (裏面)

2015年7月号

4. 農業政策について

農業をしている人と話をしていると、「米価が安くなり、米を作っても赤字になり米を作つていけなくなっている。今年は耕作を頼まれて作ったが来年は断ろうと思っている。」という話をよく聞く。山間地の条件の悪い田は益々耕されなくなっていく。農業従事者の高齢化で、これから農業をする人が少なくなっていく。農家に対する対策はどうなっているのでしょうか。

5. 農業用施設の補修材料の支給について

農業用施設の補修材料の支給という制度は非常に使いやすくて便利な制度だと思っている。良い制度で有るが、住民要望に応えきれていないのではないか。建設関係では50万円の支援が有るが、農業関係では24万円。こういう良い制度は件数も金額も増やすべきだと思うが、市長の考えは。

請願・陳情

・請願第4号 集団的自衛権行使を具体化する「安全保障関連法案」に反対する ように求める意見書提出について

賛成少数により不採択

集団的自衛権行使については国民の半数以上が反対したり、疑問に思っている。歴代の内閣法制局長官も疑問視しており、多くの憲法学者も憲法違反であると言っている中で、安全保障関連法案が制定されようとしている。日本の平和主義、立憲主義はどうなるのか。
集団的自衛権については、まだまだ、国民的議論が必要だと思います。
少なくとも憲法がこのままで、集団的自衛権はあり得ないと考えます。

・陳情第9号 人種差別を扇動するヘイト差別を禁止し処罰する法律の制定を求 める意見書の提出について

全会一致で採択

前回(3月)の委員会では研究留保になっていましたが、再度陳情が提出されました。今回の委員会では採択された。ヘイトスピーチが人権を無視したあまりにも聞くに耐えない表現であること。在特会の京都朝鮮学校へのヘイトスピーチが最高裁で有罪確定したことなどを判断しました。

・陳情第10号 地方財政の充実・強化を求める意見書提出について

賛成多数で採択

毎年提出されている陳情です。地方財政を充実させ地方を発展させるためには当然に採択すべき陳情だと考えます。しかし、政府が動かない所に問題が有ります。